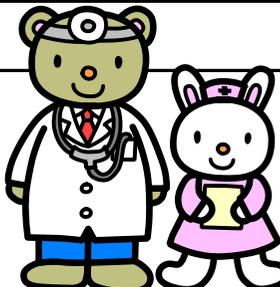


腎臓の腫瘍(右・左)の手術を受けられる方へ

お名前 @PATIENTNAME 様

受け持ち医師:

受け持ち看護師:

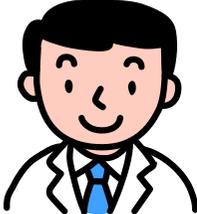
月日 経過	入院日	手術前日	手術当日(手術に行くまで)
達成目標	手術に同意している 手術の準備が完了している 転倒・転落の予防が理解できる	手術の準備が完了している 転倒・転落しない 説明内容が理解できている	安全に手術を受けることができる 転倒・転落しない 38.0℃以上の熱が出ない
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置・検査 リハビリ	入院前に呼吸機能の検査が まだの方はその検査があります。 手術後、深呼吸が上手に できるよう練習をしていきます。	爪がのびてる方は切ってください。 へその掃除をさせていただきます。 回診時に採血をします。	手術は : : からです。 午前の手術の場合は、手術室に入ってから点滴が始まります。 午後の手術の場合は、回診の時に点滴が始まります。 点滴が始まるまでにシャワーをすませておきましょう。 トイレもすませておきましょう。 手術着に着替え、ストッキングをはきましょう。 からだからはずせるものはすべてはずして下さい。 男性の方はひげをそってください。 手術室へは歩いていきます。
	麻酔科の医師から説明と診察があります。 いつも飲んでる薬のある方は、その薬を教えてください。 引き続き飲むもの、中止するものを医師に確認します。 眠れない・便秘している・気分が悪いなど ございましたら、いつでも相談して下さい。		
活動・安静度	制限はありません。		
食事	()食 糖尿病・高血圧・心臓病などのある方は、治療食となります。		食事と水分を止める時間は医師の指示に従ってください。 (朝の薬を飲むように言われた方は少量の水でのんでください。) 食事は()、水分は()から中止してください。
清潔	入浴(月一金) シャワーは毎日 できます		
排泄		21時に下剤を飲みます。	7時頃に浣腸をします。
患者様・ご家族 への説明 栄養指導 服薬指導	手術に必要な物をご用意下さい。 和式の寝巻き・腹帯・T字帯 バスタオル2枚・タオル2枚 (数日間分の着替えが必要です) 弾性ストッキング1枚 (看護師の方で用意します)	毎日、午前中に回診があります。 (土日・祝日もあります)	

病名、入院期間などは、現時点で考えられるものであり、治療・検査を進めるにしたがって変わることもあります。

腎臓の腫瘍の手術を受ける患者様へ(2)

月日	／	／	／	／	／
経過	手術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目
達成目標	痛み止めで痛みが軽減できる 体温・血圧・呼吸が安定している 出血がみられない	痛み止めで痛みが軽減できる 体温・血圧・呼吸が安定してい ベッド上坐位がとれる	痛み止めで痛みが軽減できる ベッド下に立ち上がることができる 食事が半分摂取できる	創部に異常がみられない 歩行することができる 食事が全量摂取できる	創部に異常がみられない 離床をすすめることができる 食事が全量摂取できる
治療・薬剤 (点滴・内服)	手術が終わりましたら、 ベッドでお迎えにいきます。	回診にて 酸素吸入が中止となります。	回診にて 傷のところに入っている管が 抜けます。	回診にて 背中への痛み止めの注射が 抜けます。	回診にて尿の管が抜けます。
処置・検査 リハビリ	背中から痛み止めの注射が はいつてきます。 おしっこの管が入ってきます。 傷口からも管が入ってきます。 酸素吸入、モニターをつけます。 点滴の横から、化膿止めの注射が入ります。 普段飲んでいた薬はまだ飲めません。(医師の許可が出てから、普段飲んでいた薬を飲み始めて下さい。薬によっては飲まない場合もありますので説明します)	腸の動きをよくするために適宜おなかを温めます。			
活動・安静度	翌日まで、ベッド上安静です。	ベッド上で座れるように 練習していきます。	自力で座れるようになりベッド サイドで立つ練習をします。	部屋の中を歩けるように 練習していきます。	病棟内を歩きましょう。
食事	飲んだり食べたりできません。	朝から水分がとれます。	全粥軟菜の食事が始まります。	普通の食事に変わります。	
清潔		お湯でからだをふきます。	お湯でからだをふきます。	お湯でからだをふきます。	医師の指示でシャワーに入れます。
排泄	おしっこの管が入ってます。	おしっこの管が入ってます。	おしっこの管が入ってます。	おしっこの管が入ってます。	おしっこの管が抜けます。
患者様・ご家族 への説明 栄養指導 服薬指導	手術後の観察をします。 痛み・吐き気など苦痛なことは、 我慢せず看護師に伝えて 下さい。	深呼吸するようにしましょう。 動く時に傷が痛みますが、手で押さえるようにすると、多少は楽に動くことができます 動かないでいると、手術後の回復が遅れていきます。少しずつ動いていきましょう。 痛みが強い場合は、痛み止めの薬を使いますので看護師に伝えて下さい。			おしっこの管が抜けたら、名前の書いてあるビンにおしっこをためてください。 おしっこが出にくい時はお知らせください。

腎臓の腫瘍の手術を受ける患者様へ(3)

月日	/	/	/	/	/	/
経過	手術後5日目	手術後6日目	手術後7日目	手術後8日目	手術後10日目	～手術後14日目
達成目標	術後合併症がみられない 排便コントロールできる	術後合併症がみられない 排便コントロールできる	術後合併症がみられない 排便コントロールできる	術後合併症がみられない 排便コントロールできる	術後合併症がみられない 排便コントロールできる	37.5度以上の発熱がない
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置・検査 リハビリ			朝食前に 採血があります。 (尿管の手術を受けた 方は、おしっこの管が 抜けます)			退院予定 
活動・安静度	制限はありません。 無理のない範囲で動いていきましょう。					
食事						
清潔	医師の指示でシャワー入浴ができます。					
排泄	傷があるため、いきむ力がかけにくいいため、便秘になりやすい傾向にあります。 水分を多く取るようにしましょう。 それでも便が出にくい場合は、下剤で調節したほうがよいので、ご相談下さい。					
患者様・ご家族 への説明 栄養指導 服薬指導	おしっこは毎回ビンにためていくようにして下さい。 					退院決定しましたら 退院計画書に沿って 説明をさせていただきます。